

## 認知症の人が住み慣れた地域で

### 安心して暮らし続けるために

高齢者福祉課高齢者福祉係  
☎0824-73-1165



庄原市高齢者・認知症支援イメージキャラクター

現在、わが国では高齢者の4人に1人は認知症の発症者または予備軍であると言われていきます。また、認知症は65歳未満の若年層でも発症する可能性があります。そのため、市では、認知症の人やその家族などを支援する体制の充実に向けて取り組んでいます。

#### 認知症地域支援推進員を配置

認知症の人への効果的な支援体制を構築することや、認知症ケアを向上させるための認知症施策の推進役として、庄原市地域包括支援センターに認知症地域支援推進員を1人配置しています。

#### 【取り組み内容】

- 正しい知識の普及啓発
- 地域と一体となった家族介護支援
- 医療機関や介護サービス事業所などの連携推進
- 認知症ケアに携わる多職種の協働研修の企画や調整 など

#### 認知症初期集中支援チームを設置

認知症になっても、できる限り住み慣れた地域で暮らし続けられるよ

うに、認知症の人やその家族に早期に関わる「認知症初期集中支援チーム」を設置しました。

#### ● 医療法人社団聖仁会

#### ● 庄原市立西城市民病院

#### 【支援内容】

本人や家族などから相談を受けて自宅を訪問し、早期に専門医療機関の受診・治療につなげ、適切な医療や介護が受けられるよう支援します。(1～6カ月間)

#### 【相談窓口】

本庁および各支所の地域包括支援センターです。家族で抱え込まず、ぜひご相談ください。

#### 認知症カフェの開催

認知症の人やその家族、認知症に関心のある人を対象に、個別相談会や参加者同士の情報交換・交流の場として認知症カフェを開催しています。

実施会場や時間などの詳細は、「お知らせ」のページをご覧ください。

## 男女共同参画

### わたしらしく輝く あしたのために お互いに尊敬しあう まちをめざして

市民生活課市民生活係 ☎0824-73-1154

毎年6月23～29日は  
男女共同参画週間

市は、男性も女性も対等なパートナーとしてお互いに責任を分かち合い、能力を發揮して、自分らしく、生き生きと過ごすことができる男女共同参画社会の実現に向けて、平成19年度に策定、平成24年度に見直しを行った「庄原市男女共同参画プラン」に基づいて取り組みを進めてきました。

昨年度、この計画の最終年度を迎え、新たな計画である「第2次庄原市男女共同参画プラン」を策定しました。新計画は、平成38(2026)年度

までの10年間で計画期間とし、第1次計画の評価、社会情勢の変化などから生じている現状と課題、市民アンケートによる意識やニーズなどを踏まえ、「男女があらゆる場面において、ともに参画し、活躍することができる社会の実現」を目的として推進していきます。

内閣府は「女性も男性も、自らの意思により個性と能力を發揮して活躍できる職場を作るためのキャッチフレーズ」を募集し、応募総数3050点の中から審査の結果、本年度のキャッチフレーズを「男で〇、女で〇、共同作業で◎。」に決定しました。市では男女共同参画事業として、6月23日(金)から市内7会場で巡回パネル展を開催します。皆さんも身近なところから男女共同参画について考えてみませんか。

